

医療安全委員会主催

Sedation Essence in Children Under Restricted Environment (SECURE)

第2回テストコース報告

開催日：2015年8月15日

開催場所：神戸市立医療センター中央市民病院

〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島南町2-1-1

参加費：無料（テストコースのため）

参加者数：58名（オブザーバー23人を含む）

目的：「MRI検査時の鎮静に関する共同提言」を理解し、各施設で安全な環境整備に関わる人材を育成すること

参加者：医師18名（オブザーバー6人含）、看護師25名（同13人）、放射線技師15名（同4人）

参加施設：兵庫県立こども病院、四国こどもとおとなの医療センター、長野県立こども病院

神戸大学医学部附属病院、大阪医科大学附属病院、兵庫医科大学病院

神戸市立医療センター中央市民病院・同西市民病院、加古川西市民病院

兵庫県立尼崎総合医療センター、六甲アイランド甲南病院、西神戸医療センター

プログラム内容：

第1部（30分）：座学（共同提言の解説）

第2部（70分）：シミュレーション実習（蘇生人形を用いた実践型訓練）

第3部（40分）：ディスカッション（各施設の問題点と課題解決に関する協議）

第4部（40分）：発表・質疑応答（全体で意見交換）

コースの実際：第1部は参加者全員にレクチャー形式で、第2と3部は4つのグループ（こども病院・大学病院・総合病院A・総合病院B）に分かれてハンズオンとディスカッション形式で行った。鎮静薬の呼吸抑制やアナフィラキシーなどの設定を通して、課題や解決策を他施設・多職種間で協議する場となった。第4部は各施設の課題や取り組みに関して発表し、参加者全員で討議を行った。他施設の現状を知ることによって自施設の安全環境の整備に関して新たな気づきを得る機会となっただけでなく、具体的な解決策も共有することができた。

アンケート結果：「コース全体の満足度は？」5.3（最低1-最高6）、「安全な環境整備に対する意欲が向上したか？」5.6（同）、「多職種での参加は良かったか？」5.7（同）

コースの課題と本コースの定期開催に向けて：

多職種での参加形式は、院内各部署の調整に時間を要するが、受講生の満足度は非常に高い。次回以降、正式なコースとして開催していくかの是非を委員会内で検討していく。